

令和3年度

ふじ塚遺跡

発掘たより(5)

本年度の本格整理作業が終了しました

4月から、昨年度調査した礫石経塚から出土した約40,000点に及ぶ礫石経の整理作業を行いました。今年度行った整理作業の様子を紹介します。

昨年度から開始した礫石経の洗浄は全て終了し、9月からは注記作業を開始しました。その後、簡易的な写真撮影と石の大きさや重さを計り、石の特徴を台帳に記入する計測を行いました。この作業と並行して、石に書写されている文字の判読を行いました。今年度は、全体の1/4ほどの礫石経について、作業を行うことができました。



注記作業



このような位置に注記
をしています



ごりん坊

注記マシンという機械を使い、出土地
点を記入していきます。



簡易写真撮影



礫石経は数が非常にたくさんあるので、
簡易的な写真撮影をしておきます。中
には、石の多面に文字が書写されてい
ることもありました。

(写真 左「億」・右「億」)



計測

石の大きさや重さを計り、石の特徴や判読した文字を台帳に記入します。石は遺跡の東側を流れる砥川で採集可能です。これまでに整理した礫石経のうち、約半分の石に書写された文字を判読することができました。なお、約80%の石に何らかの墨痕がみつかります。達筆な文字と、間違って書写されている文字があることから、書写には僧侶と一般の人が関わっていると考えられます。



上段「南無大日如来」「南無阿弥陀仏」「南無阿弥陀仏」
下段「賢祐大徳麗経」「黙符諠庵主」「世尊」



文字判読の指導
立正大学時枝務教授

御本尊そのものを示す「南無大日如来」「南無阿弥陀仏」の文字、願主を表すと考えられる「賢祐大徳麗経（けんゆうだいとくれいけい（きょう））」
「黙符諠庵主（もくふじあんじゅ）」の文字がみつかりました。

「掘るしん 2022」で出土品を展示します

3月19日(土)～6月12日(日)まで、長野県埋蔵文化財センター速報展「掘るしん 2022」が千曲市長野県立歴史館で開催され、ふじ塚遺跡出土の礫石経が展示されています。
この機会にぜひ足をお運びください。



令和4年度は、礫石経の整理作業を中心に、本格整理作業を行います。

新しい発見があると思いますので、また発掘たよりでお知らせしたいと思います。

ふじ塚遺跡 発掘たより 第5号

発行日：令和4年3月23日

担当者：長谷川・河西

長野県埋蔵文化財センター

TEL：026-293-5926